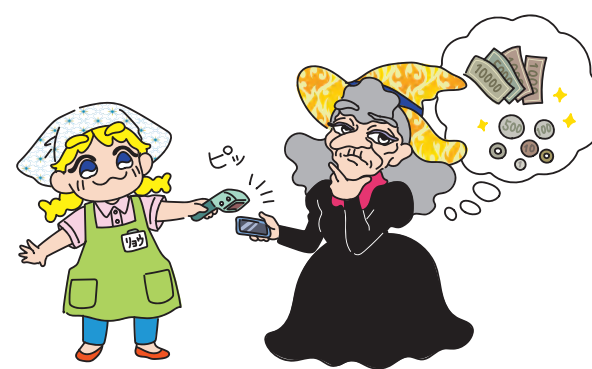
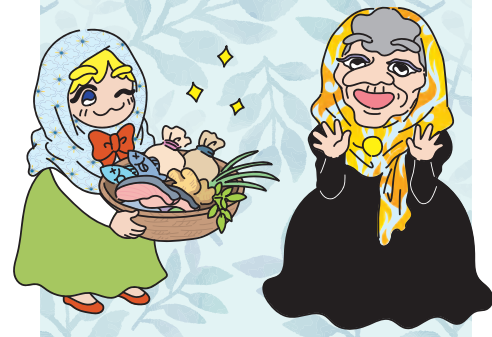




わたしはリョウ、まじょまじょよ！
最近のマイブーム、それはね…
「レジ袋はご入り用ですか？」
そう、買い物ごっこ！
おおばーばも、最初は
めんどうくさそうな顔をしてたんだけど、
算数の勉強にもなるから、こっ
けっこうノリノリで付き合ってくれるの。
「マイバッグがあるから結構ですわ」
きょうもばーばは調子がいいわね！
ピッ、ピッ、ピッ…
180円が一点、300円が一点、
280円が一点。
ええっと、全部足すと…
「お会計は、760円になりまーす」
電卓を使うことは禁止されているから、
自分で足し算をしないといけないのよね。
そこは、ばーばは厳しいの。
「バーコード決済でおねがいします」
わたしは、お手製のハンディで、ばーばの
スマホ画面を読み取るわ。
最後に、頭をへこりとさげて、はいおしまい！
あれ？ ばーばがすこじげんな顔を
してるわね。
世の中、キャッシュレスが広がって
便利になったのはいいけれど、
現金を使う経験も
ちゃんとしておいた方がいいって
ばーばは考えているみたい。
ただそれだけの理由で、ばーばに
連れられてきたのが、モロッコという国の
都市、マラケシュ。
「昔ながらの市場（スーク、といいます）
がありますから、ここで買い物をして、
お金を実際に使ってみましょう」
迷路のような市場は、たくさんのお店と
人たちがいっぱい。
ただ歩いていくだけでも楽しいけど、
今日の私の仕事は、
お買い物をするごっこだから
がんばってお店の人と交渉をしないと。
商品には値段が書かれていなくて、
お店の人と話をして、できるだけ
安くしてもらってから買う、っていうのが
この市場での昔からの伝統なんだって。
よし、じゃあ、これと、あれとつ、と！
「おじさん、これ全部でいくら？」
こっぴつとき、お店の人は、
実際の金額よりもずっと高い金額を
言ってくるんだって。



「ちゃんとお釣りもせびいって
できましたね。
それで、なにを買ったのです？」
うふふ、それを聞いてちょうの？
ばーばとおじいさんのスープレシピを
いろいろの食器や具材を買ったのよ！
さ、いっしょに作りましょ！



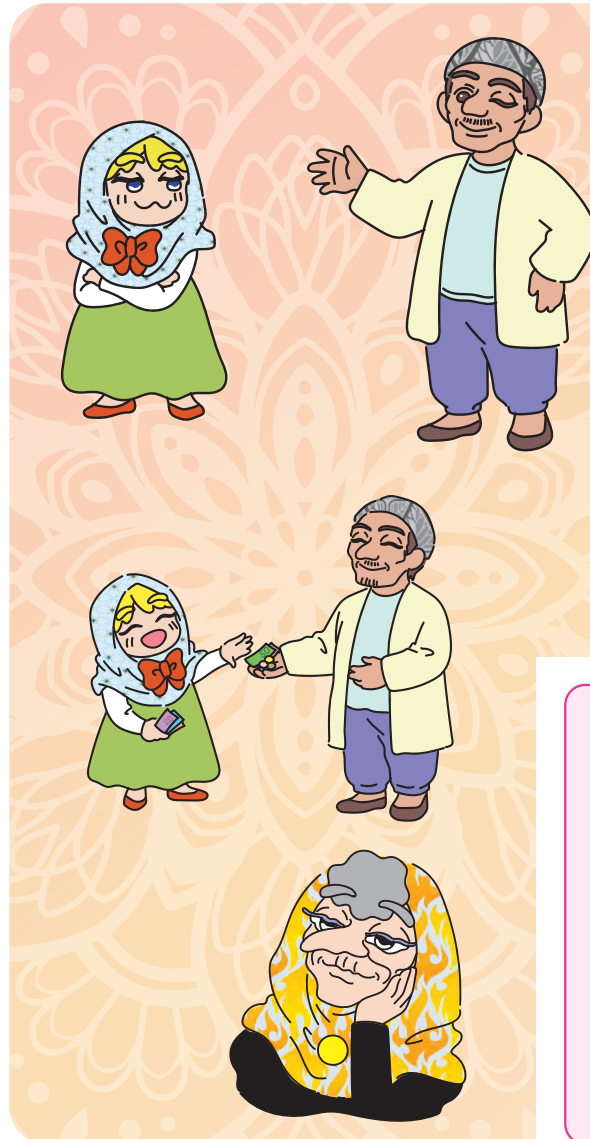
★★★★★
Q おおばーばの問題

モロッコの通貨は「ディルハム」というのですが、ここではみなさんになじみのある「円」で問
題を紹介しますね（消費税などは考えなくて大丈夫です）。
リョウちゃんはある日、食器を買いに行きました。
会計のときに、「少し負けてよ」というと、おじさんは「じゃあ10%値引きしてあげよう」と言
います。
リョウちゃんは「もう少し、お願い!」と言いますが、おじさんは「これ以上は値引きできないよ。
でも、この400円の茶碗も買ってくれるなら、15%値引きしてあげる」と、条件付きの値引き
にしか応じてくれません。割引率は高くなりますが、最初の10%の値引きのときより、支払う
金額は240円多くなってしまうので、リョウちゃんは少々考えてしまいますが、結局、茶碗も
込みで15%引きでお金を支払うことにしました。
では問題です。リョウちゃんが払った金額は、いくらだったでしょうか。

A 問題の解答

茶碗の金額の400円から15%分を引くと、 $400 \times (1 - 0.15) = 340$ (円) で、本来は支払う金額は340
円増えるとおもいがちですが、実際には、もともとの（値引き前の）金額の $(15\% - 10\%) = 5\%$ 分が同時
に安くなるので、多くなる金額が240円に収まっているということです。よって、もともとの金額の5%
分が $340 - 240 = 100$ (円) とわかるので、もともとの金額は $100 \div 0.05 = 2000$ (円) で、リョウちゃん
が払った金額は $(2000 + 400) \times (1 - 0.15) = 2040$ (円) です。

わたしはそれを知ってたから、
「それじゃ、高すぎるわ、もう少し下げてよ」
と、笑顔でおじさんに言い返したわ。
わたしの交渉術のおかげで、はじめに言われた
金額の半分くらいで買い物できたのだけど！
あれ？ 見守ってくれていたはずの
おおばーばが、
いつのまにかうつとりしちゃってるわ！
算数タイムの始まりね！



じん ぶつ しょう かい
人物紹介

未熟な魔女「まじょまじょ」を卒業
するために日々奮闘中の、どこか
おっちょこちょいな魔女。最近、
すこすこいろいろな魔法が使える
ように。目の前のものをかわい
いへびに変えるのが特技。

リョウちゃん

手厳しさもあるおおらかでやさ
しいところもある、なぜかリョウ
ちゃんと気の合う「偉い魔女」。保
護者役も兼ねる。

おおばーば
(本名はセツコ)